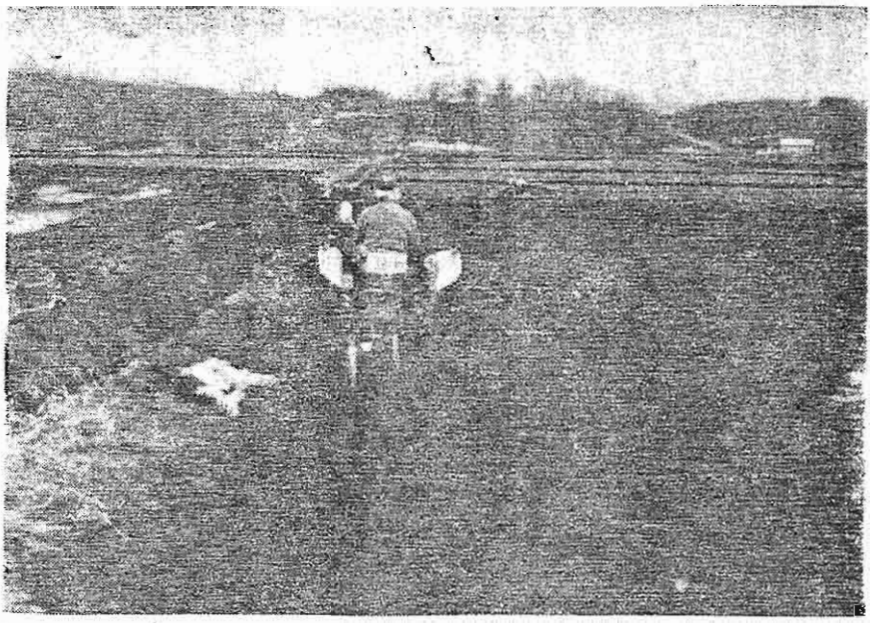
広報いまかね

発行所　今金町役場
編集企画室



◉5月の天候は!!◉

今年は春先から天候不順多雪で雪どけが十日から、二週間遅れ、平年並であつた昨年より悪く経過した。

冷害の危険性も
備えあれば憂なし
今年の営農は
万全の対策を

5月は上旬うすら寒い天気、半ば以降は、一般に暖かく良い天気に恵まれる。

しかし気温の変動が大きく月末近くに低温が現れそうである。

6月前半ばは、ほぼ順調で気温は高めである。

雨は5月、6月とも少めである。

以上の天候から農作業の進め方

一、水　稲

①苗代の播種は普通苗のほか、田植6月10日頃になつても、減収しないように普通播熟苗を利用できるよう育苗すべきである。

②苗の伸長をはかるため、保温しすぎ弱い苗を作る場合があるから、本葉2枚が出始めたら昼間は、換気と直射日光にあて、根部の発達を促し、健苗を育成すること。

③苗代除草剤DCDA（スタムー乳剤、デーピー乳剤）の使用は、本葉一、五葉から二葉期に使用し、三葉期には散布しないこと

④移植の適期は苗代日数にこだわらず、苗令により判断すること。早生本葉三葉終期中生四葉期、晩生四～五葉期

⑤肥料はチツソ質肥料の8割を元肥に、その内5割全層3割表層、残り2割は幼穂形成期以後天候によつて施すこと。

泥炭地は表層施肥に重点をおき、できおくれのないよう配慮すること。

⑥病害虫の適期防除をすること。

稲ヒメハモグリバエの防除は移植前アルドリン乳剤の散布、畦畔の一斉防除を必らず励行すること。

二、馬れいしよ

①融雪水による種薯の冠浸水に留意すること。

②圃場に埋蔵してある種薯は早目に堀り出し消毒して、緑化法（わらなどを敷いて、其の上に芋をならべ積上げ、日中日光にあて夜は、天幕などをかけ保温する）を実施すること。

③播種期遅延のおそれのあるところでは浴光催芽を行うこと。

15～20°Cで10日間～20日間の浴光催芽で7～15日位の適期増幅が可能である

④浴光催芽を行つて芽が1㎝伸びた種芋はチツソとカリを10%位多く使用すること。

三、甜　菜

○紙筒育苗管理

育苗温度は10～20°Cの範囲でむしろ低温で育て又温度較差があつても低温によく馴らすようにする。

○直播栽培

①5月は高温乾燥が予想されるので、一日も早く播種すること。

②ジノミの発生に注意し早期に防除すること。

③間引は本葉2枚早期に行うこと。（作業の関係で早くできない場合は間切りを実施すること。）

四、豆　類

①畑の準備を早めに5月20日前後に播種を終り初期生育が順調に成る様努める事

②種子消毒（有機硫黄剤○、二%粉衣）を行い、発芽並びに生育の健全化をはかること。

③肥料は燐酸肥料を多めに使用、其の半量は熔性燐肥を利用の事。

五、飼料作物

①牧草類

融雪が遅かつたので、早期に追肥を行う事。

②デントコーン家畜用根葉類について

適期播種を励行する事。

デントコーンサイレージの栄養価値を増すために登熟の早い一代雑種を8～4割配合してまくこと。

（今金地区農業改良普及所）

四月臨時町議会

第3回今金町臨時町議会が去る四月二十一日開催されました。

以下主な議案内容の決定事項はつぎのとおり

一、今金町役場の位置変更

庁舎の新位置を今金四八の一番地に変更されました

このことについて次号にて詳細お知らせします。

二、今金町課、室の設置条例の改正

社会課を民生課に土木課を建設課に夫々名称が変りそのほか企画室、水道室が新に設けられました。

三、町税条例の一部改正

◆法人税の税率

百分の九、七を百分の十一に引上げられた。

◆新築専用住宅の税の減額

専用住宅（併用住宅は二分の一以上が住宅）の場合二五、七坪以下の規模のものを新築した場合三ケ年を限つて税金の二分の一を減額することになりました。但しこの適用を受ける場合申告書を町長に提出する必要があります。

◆軽自動車税の税率

乗用車が従来年額三、〇〇〇円を四、五〇〇円に、トラクター四輪が本年より新たに賦課されることになり年額三、〇〇〇円ときめられました。

四、固定資産評価審査委員会委員の選任同意

中島英喜氏が三月三十日で任期が満了するので再任が承認されました。

小中学校先生の異動

四月一日付で町内各小中学校先生の異動が発令され次のとおりそれぞれ赴任いたしました。

◉美利河小学校中山　寿一
◉中里小学校　校長　中西　時男
◉住吉小学校　校長　沢村　石男
◉種川小学校　校長　杉本　省吾
松井久美子　南谷　博
中川　勝二
◉今金小学校　校長　山中　富三
浜　栄三　吉見　久
北川　忠　菊谷　良子
◉八束小学校　千田　伸
◉金原小学校　校長　林　三郎
富沢　保則
◉神丘小学校　平松　一雄
◉日進小学校　校長　細川　栄次
◉美利河中学校伊藤　弥生
吉田　光義
◉花石中学校　村上　信俊
◉中里中学校　堀田　数雄
◉種川中学校　校長　大塚　市吾
石橋昭二郎
◉今金中学校　米津　正芳
高谷　隆　松村　俊明
稲船　恒夫
◉八束中学校　福田　福男
◉豊田中学校　上野　良司
◉神丘中学校　三上喜代治

◉税務のお知らせ

※四月の納税

固定資産税第一期

※五月の納税

軽自動車税

国民健康保険税第一期

※原動機付自転車及び小型特殊自動車の標識がかわりました。

本年度より原動機付自転車及び小型特殊自動車の標識（ナンバープレート）を一斉にとりかえることになり先に部落町内会長を通じて連絡しているところでありますが、まだとりかえていない方もありますので、五月中に必ずとりかえて下さい。

標識の色別は五〇CCまでが白色、五一CC～九〇CCまでが黄色、九一CC～一二五CCまでが薄桃色小型特殊自動車（農耕用、その他）が緑色になつています。なお標識とりかえ後車種の変更、交換、売買、廃車等があつた場合は必ず税務課まで連絡して下さい。

※納期前に税金を完納したときは前納報奨金が交付されます

納税通知書に記載された納税額について一度に納税したときは、納期前に納めた納額の百分の一に納期前にかかる月数（一月未満の端数がある場合においては十四日以下は一月とする）を乗じて得た額を前納報奨金として交付されることになつています。前納報奨金の対象となる税目は期別納税の町、道、民税、固定資産税、国民健康保険税であります

次のように四五〇円が前納報奨金として交付されることになります。

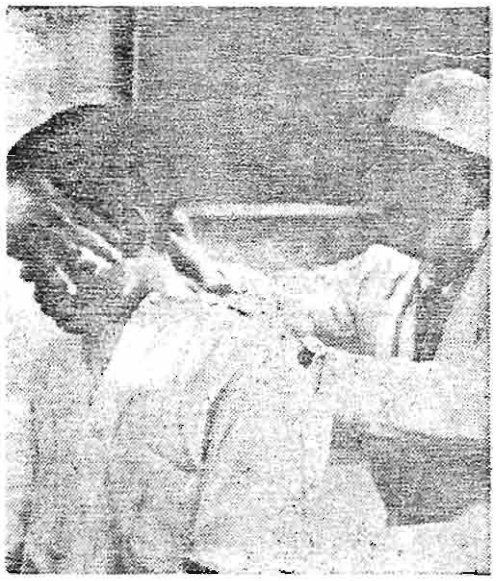
報奨金の計算例（固定資産税）

納期	納付月日	納税額	納税額の百分の一の額	納期前にかかる月数	前納報奨金
四月	四月二十日	五、〇〇〇円	五〇円	三	一五〇円
七月	四月二十日	五、〇〇〇円	納期内につき該当しない		
十月	四月二十日	五、〇〇〇円	五〇円	六	三〇〇円

町民相談室

役場への意見、要望、相談ごとは企画室までどしどしお寄せ下さい。

このらんえの投書あるいは電話、直接おいでいただいても結構です。



急性意識障害患者の取扱方について

〔その二〕脳卒中

今金町国保病院
院長　木村　博

脳血管に突如大きな変化が発生して意識を失う場合を脳卒中と呼ぶが、これには四つの原因がある。

(イ)脳溢血＝脳血管が破れて脳内に血の塊が生ずるので脳を圧迫する事になって意識を失うものである。血圧の高い人に起り易いのは良く知られて居る。

意識を失って居りますから顔色は赤く、脈が強く打ちいびきをかくのが特徴である。この様な場合は脳内の出血量を少くする意味から決して頭や体を揺り動かしてはならない。

呼び覚そうとして揺り動して居る場面を多く見かけるが、患者には大変な迷惑なのである。静かに枕をさせる事、何処で倒れても倒れた場所から動かさない事食べた物を吐く場合は速かにふきとり、顔を横下に向け、吐物が気管に入らない様にする事が適切な処置である。

(ロ)脳軟化＝脳血管の動脈硬化が強くなると、血管壁に出来た粥状の垢が自然にはがれてそれより細い処を閉塞するので、その血管によって血液を受けていた脳が死に、軟化する病気である

脳溢血とは区別し難いが高血圧でなくても生ずるから、顔色は普通か、やや蒼白であり、脈の打ち方も脳溢血程強くはない。

取扱方の注意は脳溢血と同じである。

(ハ)脳血栓症＝心臓の弁膜に狭窄があると、血流がうまく行かないので心臓内に血の塊が出来るが、この塊が流れ出して脳血管に引っかかる場合に起る病気である。突然激しい頭痛を訴えて苦しみ出し多くは一側の手足の麻痺を伴い意識を失うのが特徴である。

取扱上の注意は脳溢血と同じである。

(ニ)脳動脈瘤破裂＝生れつき、或は梅毒や動脈硬化で生じた脳動脈の瘤がふくれ過ぎて破れ脳の表面に流れ出した血液が脳膜を強く刺戟して意識を失う病気である。若い人に起る事が多い取扱い上の注意は脳溢血と同じである。

農薬の取り扱いに注意

農薬の使用量は年々増加し農作物の増産に大いに役立っていますが、反面事故も全国的に多く発生しております。

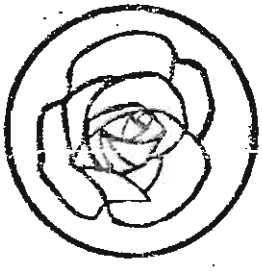
この原因の大部分は農薬を保管する場合の不注意や永年の経験による油断をしたためです。

農薬を取り扱う人は日頃より農薬の性質や使用方法を正しく理解し、保管する場合かぎのかかるところに保管することが大切です。

今年も事故を起こさないようお互に注意しましょう

町をきれいに　花いっぱい

明るく正しい参議員選挙



5月　強調月間

◉ 普通選挙制度施行40周年 ◉

◉ 婦人参政20周年 ◉

今金町公明選挙運動推進協議会
今金町選挙管理委員会

山の相談ごとは林業改良指導員へ

山の苗木はこうして植えよう

植えつけの時期がやってきました。なにごとも出発が大切。植えつけは育林のスタートです。手間を今までの2倍かけたとしても、植えた年から生長し、4年位で下刈の手間がぬけるとしたら、結局は得というもの。そんな植えつけの仕方があるのです。もうかる林業経営はまず、スタートダッシュをつける植えつけからはじめましょう。

基本的な植えつけ方

一、地ごしらえは文字どおり土地を作る作業です。養分のある枝や葉を林地に全面ばらまこう。

二、地ごしらえが終ったら植えつける場所の枝や葉を1メートル四方にとり除く

三、ついで、地表の腐植質を含んだ黒い肥えた土をかき寄せる。

四、それから、その1メートル四方のむき出しになった地面にクワをまんべんなく打込で土をやわらかくしその中央に40センチ角、深さ30センチ位の穴を堀る。

五、その穴の底に先に取り除いておいた、黒い湿りのある土を、両手で入れ穴の底を小高くし、そこに苗木を入れ、根の四方に、しかも根の先端が下向きになるように伸してやる。

六、ついで、その苗木を上下にゆすぶりながら、黒い土をかけそれから堀り出した土をかけてやって、よく踏みかためる。

七、そして、最後に落葉、落枝などを、またもとのように戻し、地面をおおってしまう。

昭和40年度上半期経口生ポリオワクチン投与実施

標記のことについて、下記により実施しますので対象者は必ず投与を受けるよう通知します。

◉投与対象者　昭和39年7月1日から昭和40年1月31日までに生れた人。

◉費用は一切無料です。

◉対象者は最寄りの会場にて投与されるよう通知します。

日程表

実施月日	実施時間	実施会場
5月11日	10.00～10 30	美利河小学校
	11 00～11.30	花石診療所
	12.00～12.10	中里小学校
	1.00～ 1.20	住吉小学校
	1.30～ 2.30	種川小学校

実施月日	実施時間	実施会場
5月12日	10.00～10.30	神丘小学校
	11.00～11.50	八束小学校
	1.00～ 1.30	金原小学校
	2 00～ 2.30	豊田小学校
5月13日	10.00～ 3.00	公民館

農村青少年 海外派遣者を募集しています

町では昭和四十年度に於て農村青少年の海外派遣したい方を募集することになりました。

指導的適任者を欧洲その他海外先進諸国に派遣し実施に農業および生活技術を体得させ帰町後は農業構造改善の中核者として本町農業の振興と青少年の育成のため積極的に力を入れるためです。希望の方は町企画室にお問合せ下さい。

派遣先
欧洲及びカナダ
デンマーク
米国農業実習生
米国農業労務者

民生課よりのお知らせ

1春季大掃除指導（検査）について

本年は融雪がおくれ農繁期とのかね合い等もありますがおよそ五月下旬～六月中旬に実施の予定です。

2季節保育所の開所時期について

本年度の季節保育所開所は五月上旬を予定しております。

（栄団地の鯉のぼり）